

# 新設工事成りし 東京市芝浦唧筒場

位置 東京市芝區芝浦第五號埋立地先  
面積 5,460 坪  
地盤高 靈岸島基標 + 12尺  
設計施工 東京市役所土木局下水課  
總工事費 1,259,000圓

内 譯 土木工事費 474,000圓  
建物費 440,000圓  
機械設備費 345,400圓

竣工 昭和三年十一月

### 設置の目的

東京市改良下水道計劃による第一區中段(本郷區全部、小石川、牛込、四谷、麴町、神田、芝の一部)及び第一區低段(日本橋 其他)區域内の下水を本唧筒場に集めて揚水し、第

一區高段(麻布、赤坂其他の)區域よりの流集するものに合流せしめ、第一區全區域の下水を自然流下により羽田處分場へ送水するものである。

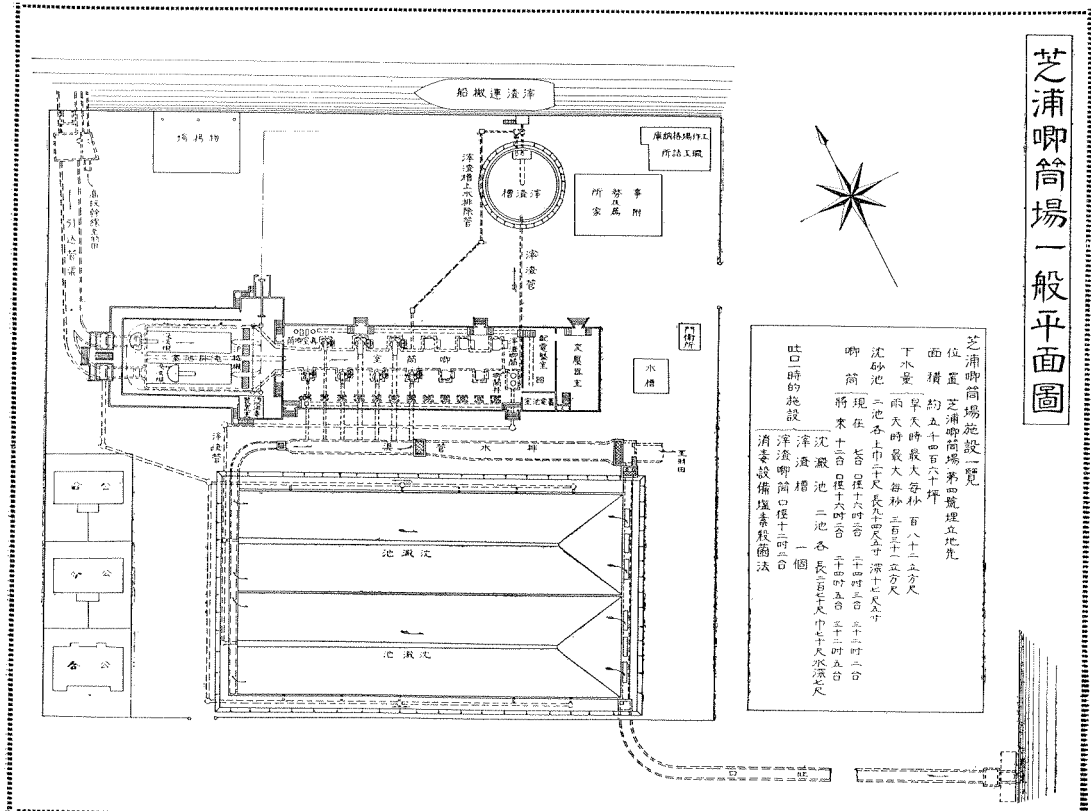
低段より流入する水位(-7尺)を高段流入水位(+8尺)迄揚水するものである。

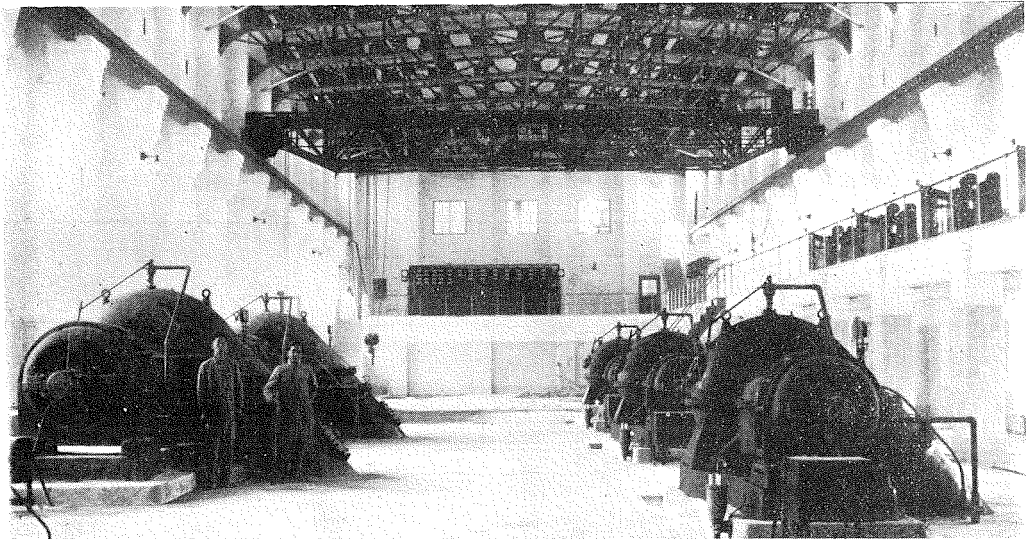
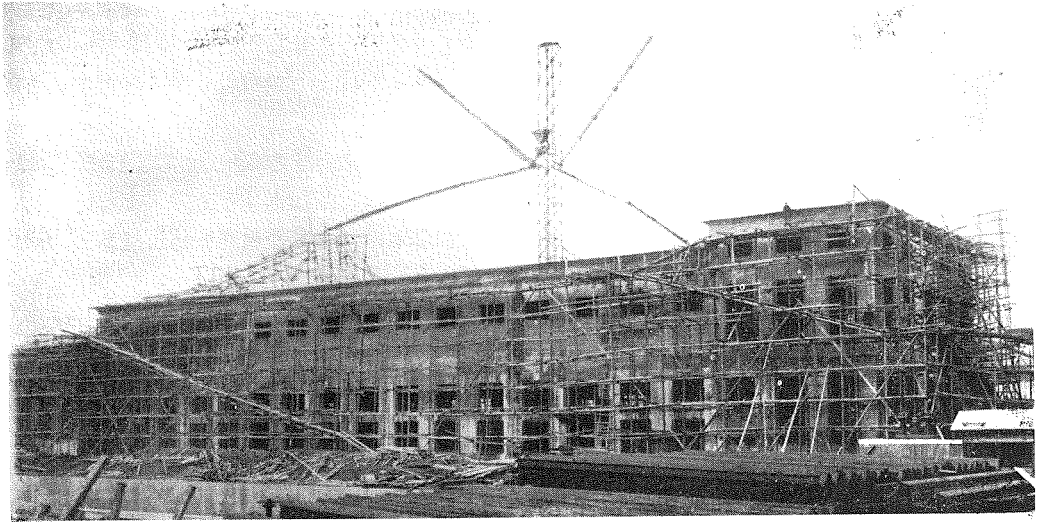
尚ほ羽田汚水處分場完成期迄は本唧筒場に於て直に品川灣内に放流する。

### 設備の概要

本唧筒場には左記設備を有す。

- 1 引込幹線
- 2 沈砂池
- 3 濾格
- 4 唧筒室
- 5 導水渠
- 6 消毒裝置
- 7 沈澱池
- 8 排水渠
- 9 上水排除管





- 10 放水管
- 11 滓渣槽並滓渣船
- 12 高置水槽
- 13 物揚場
- 14 事務所並に附屬家

### 流集量

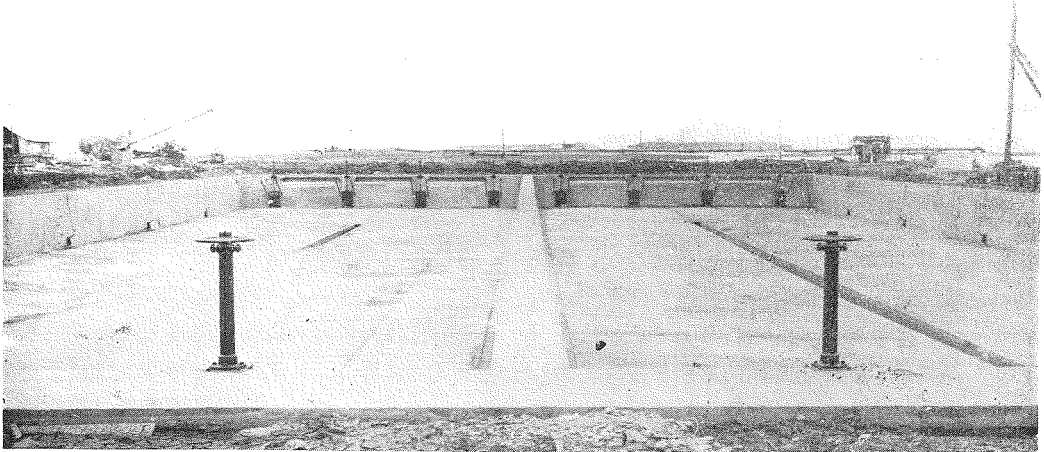
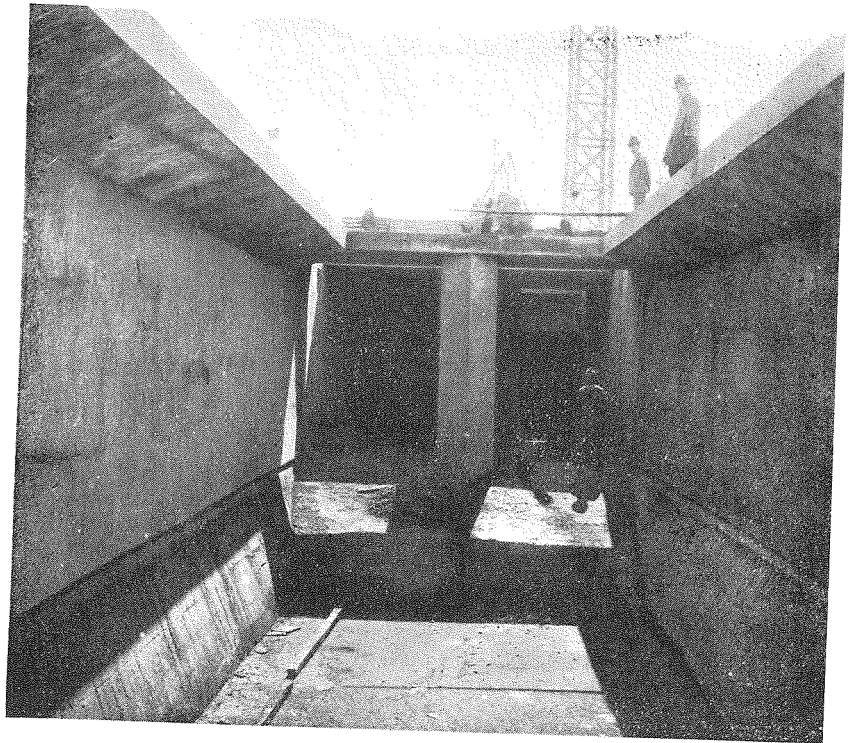
本唧筒場に屬する流域は第一區中低段全部及び郊外の藍染川、千川、音羽川、早稻田、神田川、古川の各流域にして其面積13,775,000面坪、流量現在 1,390 立方尺である。尙ほ將來を豫期して處理流量 3,310 立方尺の設備をしてある。

上圖、東京市芝浦下水唧筒場建物  
下圖、同唧筒室内部

濾格を通過せる下水は十二個の唧筒井に入り離心唧筒により揚水し排水渠に送り鹽素殺菌を施し沈澱池に流入する。

唧筒吸水管徑16吋2臺、24吋3臺、32吋2臺、其他に5臺ある。電動機は夫々30馬力2臺、70馬力3臺、150馬力2臺を備へてある。以上の唧筒を完全に始動する爲め7.5馬力の真空唧筒2臺を設置してある。

(上圖) 沈澱池。引込幹線の暗渠から流入して來る下水は先づ沈砂池に入り流速を減じて砂泥を除去する、入口には阻水扉がある。沈砂池断面は梯形をなし上幅二十尺、下幅十九尺、深十二尺五寸。



(下圖) 沈澱池は幅70尺、長270尺、側壁高8尺、水深7尺のもの二個を併列して設置し其底部には約17,600立方尺の容積を有する滓溜溜を設け3週間乃至4週間分の滓渣收容力を有す。